

新入会員の紹介

水関連インフラ事業の土木、建築の設計・施工

株式会社クボタ建設

問い合わせ先：〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1-2-47 クボタ第2ビル6F
営業統括部 Tel：06-4396-2310 Fax：06-4396-2311
<https://www.kubota-const.co.jp/>

弊社は「クボタグループ」の一員として、水関連インフラ事業の土木、建築の設計・施工を国内外で事業展開しています。特に国内の水関連インフラ整備に貢献すべく、非開削の固有技術である「ミニシールド工法」「DXR工法」「ダンビー工法」を用いて、上下水道など人々の生活に欠かせない水環境の整備・保守・保全に尽力しています。

特に泥土圧式ミニシールド工法は、仕上がり内径φ1,000～2,000mmまでの適用範囲を持ち、セグメントは日本下水道協会規格JSWAS A-7認定されているボルトレス三等分割セグメントを使用し、高い耐久性を保持しています。ミニシールド工法は、汎用性の高さから下水道管路工事を始め、上水・工水・農水のパイプライン、電力関連のさや管工事などで採用され、約50年の歴史を刻んできました。

2011年新たに上市した非開削工法のDXR工法は、「DXRシールド（呼び径1000～2000）」と「PN形ダクタイル鉄管（呼び径700～1500）」と

の組み合わせにより、非開削で長距離・急曲線施工の管路構築を実現しています。水道本管の口径に対して3口径差でR=15mまでの急曲線施工を可能とし「さや管口径の縮小化」を実現した環境に優しく、経済的な設計・施工を可能にした「水道用さや管シールド工法」です。

ダンビー工法は、800～3000mmの円形・非円形に対応した大中口径管きょ更生工法です。複合管を形成することで管体強度を上昇させるほか耐震性も向上します。施工時の周辺環境への影響が低減され、工事コストも削減できることから全国で採用されています。

「クボタグループ」の一員として、『For Earth, For Life』を企業理念に掲げながら、上記のような、固有技術を用いた事業を展開しています。美しい地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしを守るため、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に今後も尽力して参ります。



ミニシールド坑内



DXRシールド機



ダンビー工法施工中